

食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋など、楽しみな季節になってまいりました。日頃より皆様には大変お世話になりありがとうございます。市議会では9月定例会が行われ、平成20年度一般会計決算が認定されましたのでお知らせいたします。

全国的には政権交代がおこり日本が大きく変化する時代に突入します。市民の皆様と一緒に住みやすい街づくりを考えていきたいと気持ちを新たにしていますので宜しくお願いします。

平成20年度一般会計決算

歳入 426.9億円、歳出 397.2億円、実質収支 24.4億円の黒字

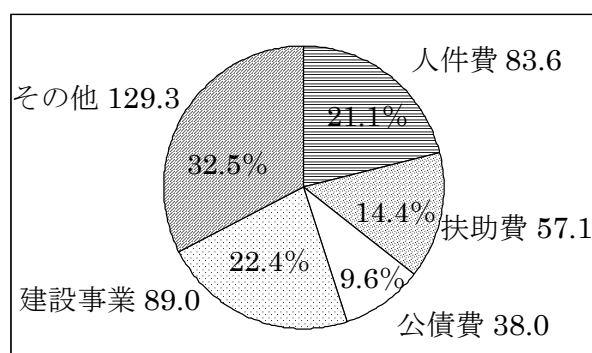
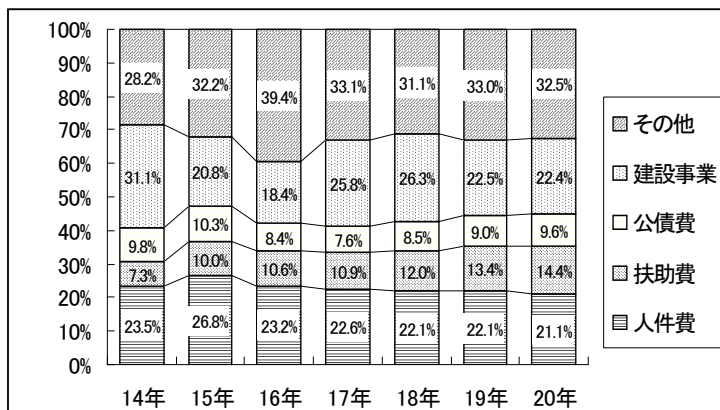
市税収入について ※前年度より3.2億円（1.5パーセント）増加

区分	19年度(千円)	伸率%	20年度(千円)	伸率%	要因
市民税個人	8,418,649	24.3	8,529,466	1.3	19年度は国の税源移譲より増加 企業収益（製造業）の悪化により 減少
法人	2,705,518	△0.1	2,361,898	△12.8	
合計	11,124,167	17.3	10,891,364	△2.1	
固定資産税	8,746,676	0.7	9,306,712	6.4	新設工業団地の稼働に伴う償却資産の増により増加
軽自動車税	204,605	5.3	214,666	4.9	軽自動車の台数増による増加
市たばこ税	748,198	0.7	711,803	△4.9	禁煙傾向のあらわれでしょうか
入湯税	2,721	△14.2	2,082	△23.5	
都市計画税	1,423,037	4.1	1,445,717	1.6	
合計	22,249,404	8.7	22,572,344	1.5	

歳出について

性質別歳出構成比の年度別の推移

20年度性質別歳出額のグラフ（単位:億円）



性質別歳出の状況（平成20年度）

○義務的経費（人件費、扶助費、公債費の合計）は前年度と比べ約2億円増加しました。

人件費は約4億円減少し、扶助費は子ども医療費助成や障害者自立支援拡大に伴い約4億円の増加、公債費（市債・借入の返済金）が約2億円増加しました。

東海中央病院の現状と今後

各務原市の市民病院として再生が期待される東海中央病院新病棟の入札が平成21年3月に行われ、平成23年オープンを目指して改築工事が順調に進んでいます。

医師の現状は内科・循環器科・神経内科・外科整形外科はおおむね充足し、病棟看護師数は平成21年9月で109名と前年より増加しています。設備の質的向上のため、カプセル内視鏡システムやマルチスライスCT装置を導入しました。入院患者数も前年度より回復基調で、人工透析数はほぼ前年並みです。小児科・産婦人科の医師については、新病院開設に向けて確保の努力を継続し、平成22年1月には休止中の1病棟を再開し、平成23年オープン時には分娩を再開し、元の状態に戻す計画を立てています。

東海中央病院の完成予想図



各務原市は平成20年度で東海中央病院改築事業に対して1億円を支出し、総額30億円を支出する予定です。今後はより地域に根ざした温かみのある急性期病院としてや、分娩の再開、緩和ケア医療の整備など大きく期待されています。これからも進捗状況をチェックし報告いたします。



いきいきライフのご紹介



月丘団地シニアクラブ&近隣ケア

健康維持や仲間づくりのために団地の公園でクロッケーゴルフ、集会場ではクロリティや卓球をしています。いろいろな大会にも参加して、入賞を目指しながら、楽しく活動しています。

<種目>クロッケーゴルフ、クロリティ、卓球

<日にち>毎週 月曜日～金曜日

<時間>午前8時30分～9時30分

<場所>月丘団地公園、集会場

<会員数>20名

加佐美神社奉納みこし（六軒みこしの会）

今年は、六軒・駅前・三柿野・村雨・希望地区が4年毎の加佐美神社奉納の年になります。地域有志の皆さんで今年の5月から神輿・花笠などの作成にかかり、9月までかけて完成しました。特に今年は各務原市産業文化センターロビーに9月27日～10月7日の間、完成した神輿を展示し、写真パネル・ビデオなどで説明を加えました。蘇原地域に伝わる神輿の行事を市民の皆さんに知ってもらい、伝統を守っていきたいと思っています。



【杉山もとのり後援会事務所】〒504-0905 各務原市蘇原六軒町3丁目6番地 辻井ビル1F
ホームページ <http://www.geocities.jp/sugi3980> 電話/FAX 058-383-2900